

**授業概要**

本講義では、生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本について講義する。講師から解説するだけでなく、生涯学習の方法論を体験しながら学習を行う。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	今なぜ生涯学習が必要なのか
第 3 回	教育の原理と社会教育
第 4 回	社会教育に関する法令と施策
第 5 回	社会教育行政の意義と役割
第 6 回	生涯学習の方法・形態
第 7 回	生涯学習関連施設への訪問（課外学習）
第 8 回	情報からの学習－図書館
第 9 回	「もの」からの学習－博物館
第 10 回	生涯学習施設－公民館
第 11 回	地域の人々の相互学習－NPO
第 12 回	学校教育との連携
第 13 回	情報技術と生涯学習
第 14 回	プログラム評価
第 15 回	生涯学習・社会教育指導者の役割

**到達目標**

- ・生涯学習及び社会教育の本質と意義について理解することができる。
- ・自分の目指す領域の、生涯学習における位置づけを理解することができる。
- ・生涯学習の方法論を企画・実践することができる。

**履修上の注意**

- ・授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いや活動の機会を多く設ける。
- ・他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。
- ・授業内で、生涯学習に関する発表を行うことが単位習得の必要条件である。
- ・発表の内容や形式については、履修者の人数によって適宜調整を行う。

**予習・復習**

社会教育施設（博物館、図書館、公民館）などの生涯学習関連施設に、一度は訪問・調査を行う時間外学習が必須である。

**評価方法**

授業内発表 50%、受講態度 50%

**テキスト**

- ・参考書名：新しい時代の生涯学習
- ・著者名：関口 礼子・西岡 正子・鈴木 志元・堀 薫夫・神部 純一・柳田 雅明
- ・出版社名：有斐閣
- ・出版年（ISBN）：978-4-641-22106-2